はじめに

本日は，お忙しい中，本校の研究発表会にご参会いただきまして，誠にありがとうございます。

楽只小学校との統合から，早いもので２年１１か月が経過しました。学校教育目標である「夢に向かって自ら未来を切り拓く子どもの育成　～一人一人を徹底的に大切にし,「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を高める教育の推進～」については，その実現を目指し，教育活動を推進しております。本年まで５年間にわたり進めてきた「生活単元・生活科・総合的な学習の時間」を柱に，探究力やコミュニケーション力，問題解決力等の育成を目指しています。また，カリキュラム・マネジメントの充実を図るとともに，子ども達一人一人に確かに届く授業の構築を目指し，実のある授業実践研究が展開できるよう，毎回の指導案検討や事後研究に力を注いでいます。本年度はさらに，ＧＩＧＡ教育構想の推進と情報活用能力育成を念頭に，オンラインでの学習活動やロイロノートの活用を積極的に進めています。

豊かな歴史と伝統を有する「紫野」の地域に根ざした学習を通して，子ども達一人一人が「人・もの・こと」について探究し，地域の素晴らしさを認識し，実感できるようにすることが大切だと考えています。教職員も，社会に開かれた教育課程の実現を意識する中で,「自分たちに，何ができるのか」と常に自身に問い，子ども達と対話を続けながら研究実践を進めています。今後も,統合を機会に広くなった校区の学習資源を最大限に生かし，人とのつながりを大切にした学習に取り組んでいきたいと思います。また，コロナ禍の中でも,「研究活動は止めない」との認識に立ち，子どもに届く指導の在り方を研鑽していきたいと考えています。

子ども達には，自分のよさや可能性を認識するとともに，あらゆる他者を価値のある存在として尊重し，多様な人々と協働しながら，様々な社会的変化を乗り越える力を付けてほしいと願っています。本校の研究実践が，未来を生きる子ども達の資質･能力の育成に寄与できれば幸いだと考えています。

本日の研究発表会にご参会いただいた皆様からご意見・ご指導を賜り，今後の紫野教育に生かしたいと思います。

最後になりましたが，本校教育推進のためにご指導・ご助言を賜りました，京都光華子大学准教授　西　孝一郎先生，京都文教大学准教授　成實　孝之先生，京都市総合教育センター指導主事　鍵村　佳江先生，京都市教育委員会　総合育成支援課専門主事　和田英明先生，同　研究課首席指導主事　牧野　雅彦先生，さらには,（株）ロイロ代表取締役COO　杉山　竜太郎様はじめ関係の皆様には，多大なるご支援を賜りました。ここに心から感謝申し上げます。

令和３年２月４日

京都市立紫野小学校
校長　松下　誠太郎